

## 感染症の発生について(情報提供)

## 【概要】

市内医療機関から腸管出血性大腸菌(O26)感染症の発生届が当保健所がありました。  
内容につきましては、下記のとおりです。  
これは感染症法第16条に基づく発生動向情報であり、感染予防について呼びかけるものです。

病名	腸管出血性大腸菌(O26)感染症				
年齢及び性別	5歳・ 女児				
職業	保育園児				
住所	四日市市				
発病年月日	平成	26年	12月	24日	
診断年月日	平成	27年	1月	6日	
【患者発生の経過】					
12月 24日	腹痛、水様便(5回/日)あり。医療機関受診。				
12月 27日	腹痛強くなり、血便(3回/日)の症状あり。医療機関を再受診し治療開始。				
12月 28日	腹痛軽減、軟便(2~3回/日)あり。				
1月 2日	腹痛なく、普通便となる。				
1月 6日	12月27日の便検査の結果から腸管出血性大腸菌(O26)感染症と診断。				
1月7日現在、症状なく快復しています。					
【防疫措置】					
家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施					
【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】					
平成27年1月1日～平成27年1月7日現在までの本件含む ( )内は三重県内の発生					
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
患者	6 (31)	12 (50)	6 (44)	5 (39)	1 (1)
保菌者	9 (19)	3 (24)	7 (18)	1 (19)	0 (0)
計(感染症)	15 (50)	15 (74)	13 (62)	6 (58)	1 (1)
【自分で出来る予防対策】					
1 予防の3原則					
加熱(菌を殺す)					
この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。					
肉の生食は避けてください。特に子どもや高齢者は注意してください。					
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。					
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。					
井戸水は、煮沸してから飲んでください。					
迅速・冷却(菌を増やさない)					
調理した食品はすぐに食べましょう。					
清潔(菌をつけない)					
手指や調理器具は十分に洗いましょう					
2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。					
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。					

## 連絡先

四日市市保健所 保健予防課(059-352-0594、059-352-0595)

担当： 松浦、吉澤